

耳鼻いんこう科

【研修目標】

一般目標 GIO:

救急外来や担当患者において、耳鼻いんこう科領域の初期対応が出来るようになるため耳鼻いんこう科領域の解剖と疾患を理解した上で診察・検査を行い診断する能力を身に付ける。

行動目標 SBOs

- 1) 耳鼻いんこう科領域の解剖・疾患が説明できる。(想起)
- 2) 耳鏡・鼻鏡・軟性 fiber を使い耳・鼻・咽頭・喉頭の所見がとれる。(技能)
- 3) 標準純音検査の結果から病態を推測する。(解釈)
- 4) 平衡機能検査を行い結果から病巣を推測する。(技能)
- 5) CT・MRI 等から病態を推測する。(技能)
- 6) 手術の適応、術式を理解し治療方針をたてる。(技能)
- 7) 手術には全て参加する。(態度)
- 8) 緊急手術は積極的に参加する。(態度)
- 9) 気管切開・扁桃摘出手術を経験 2 回目には完遂できなくとも執刀する。(態度)

【研修方略】

研修期間: 1 年次外科系選択。2 年次選択。

耳鼻いんこう科の診断・診察は「実際にどれだけ疾患を診たか。」が鍵です。外来で、診察医と共に、興味ある疾患の所見をどんどんとってもらいます。手術は基本的に全て参加してもらいます。時間外・緊急手術も可能な限り参加してもらいます。
* 当直明けは半日で終了です。

研修内容: 基本的に午前中は外来、午後は検査・手術です。

3 診全ての診察室で経験すべき疾患を**指導医・上級医**と共に所見取りしてもらいます。その時に耳鏡・鼻鏡・軟性 fiber を体得してもらいます。
また、平衡機能検査・聴力検査・画像検査から病態を推察してもらいます。手術適応となる疾患を外来で診察し、実際の手術にも参加してもらいます。病棟の回診で術後の経過を診たり、めまい・急性炎症性疾患の経過を経験してもらいます。
癌患者の抗癌剤や Radiation 治療についても病態・経過を経験してもらいます。ローテート終了時には、経験した疾患の治療方針が立てられるようになってもらいます。

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金
午前	外来 (回診)	外来 (回診)	外来 (回診)	外来 (回診)	外来 (回診)
午後	検査 or 手術	検査 or 手術	検査 or 手術	検査 or 手術	検査 or 手術

【研修評価】

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
1	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	ローテーション中
2	技能	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテーション中
3	解釈	形成的	口頭試験	上級医	ローテーション中
4	技能	形成的	口頭試験	上級医	ローテーション中
5	技能	形成的	口頭試験	上級医	ローテーション中
6	技能	形成的	口頭試験	上級医・指導医	ローテーション中
7	態度	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテーション中
8	態度	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテーション中
9	態度	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテーション終了時